

(参考資料)

## 審査にご協力いただいた専門家の皆さま

○<sup>さ さ き</sup>佐々木 <sup>ひでゆき</sup>秀之 氏 (宮城大学 事業構想学群 准教授)



東北学院大学大学院修了。博士（経済学）。

東日本大震災以降、社会起業家育成、復興まちづくり計画策定、NPO・住民自治組織支援、コワーキングスペースの設置運営、地域資料のデジタルアーカイブ化等に従事。

2016年4月より現職。地域の資源・歴史を活かしたまちづくり・地域ビジネス・地域コミュニティの創造に、理論と実践の両面から取り組む。

### 【主な公職】

仙台市協働まちづくり推進助成事業審査員、富谷市協働のまちづくり推進審議会会長、利府町総合計画審議会会長

○<sup>いとう さとこ</sup>伊藤 聡子 氏 (フリーキャスター・事業創造大学院大学 客員教授)



東京女子大学文理学部卒業、事業創造大学院大学修了。

大学在学中に TBS「関口宏のサンデーモーニング」でデビュー。スーパーモーニング（テレビ朝日）、ベストタイム（TBS）、アクセス（TBS ラジオ）等の報道情報番組のキャスターを務める。

2002年、NY フォードム大学留学。その後、国際貢献の現場や国内外のエネルギー関連施設を視察・取材する中で、途上国や日本の地域の自立にはビジネスの視点が不可欠と捉え、MBA（経営管理修士）を取得。

現在は「ひるおび！」（TBS）や「ミヤネ屋」（読売テレビ）等の報道情報番組でコメンテーターを務める一方、「地域経済の活性化が日本の元気を取り戻す鍵」を持論とし、地域に根差した独自の取り組みやビジネス事例を取材。地域をイキイキと輝かせるヒントをメディアや講演で伝えている。

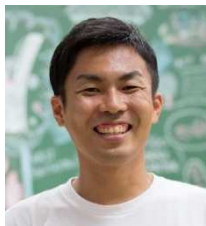
### 【主な公職】

経済産業省中小企業政策審議会委員、経済産業省産業構造審議会 産業構造技術環境分科会 地球温暖化対策WG 検討委員

(裏面に続く)

○<sup>うしだ</sup>丑田 <sup>しゅんすけ</sup>俊輔

氏（ハバタク株式会社 代表取締役・シェアビレッジ株式会社  
代表取締役・プラットフォームサービス株式会社 取締役社長）



慶應義塾大学商学部卒業。東京都千代田区の公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクウェア」、日本 IBM の戦略コンサルティングチームを経て、2010年にハバタク（株）を創業。新しい学びのクリエイティブ集団として、国内外を舞台に様々な教育事業を展開。

2014年より秋田県五城目町を拠点に、田舎発起業家を育む「ドチャベン」、古民家を舞台に地域をつなぐ「シェアビレッジ」、遊休不動産を遊び場化する「ただのあそび場」、住民参加型の小学校建設「越える学校」支援等を推進。2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。

○<sup>さいとう</sup>齋藤 <sup>かんじ</sup>幹治

氏（公益財団法人東北活性化研究センター 専務理事）



1981年東北電力入社。東北観光推進機構推進本部長、（一社）東北経済連合会常務理事事務局長などを歴任。

2018年より、東北6県と新潟県における総合的な地域整備や地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクトの発掘・支援等に関する事業を通じ、東北と新潟の活力向上と持続的な発展に取り組む、（公財）東北活性化研究センターの専務理事を務める。

以 上